

## アウゼシリーズ

## 工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。  
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

BF-A147T型

BF-A146T型

サーモスタット付シャワーバス水栓

## 1. 施工の前に

## 安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

## 用語および記号の説明

**注意** ... 「取扱を誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ... 「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⊘ ... 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)

🔪 ... 「分解してはいけません！」

📌 ... 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

## ⚠ 注意

湯水を逆に配管しないでください。  
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。



お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。  
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。  
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



## 本製品の仕様と使用条件

給湯器温度設定	85℃以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水(※1)
使用環境温度	【一般地用】	0~40℃	但し、内部の水を凍結させないでください。
	【寒冷地用】	-20~40℃	
給水給湯接続	PJ1/2	取付ピッチ	120~210mm
圧力条件	0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧) 給水圧力≧給湯圧力※2		

※1 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

※2 給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

## ガス給湯器(比例制御式:16号相当)と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	A+0.08MPa(スプレーシャワー、スイッチシャワー)
	A+0.10MPa(多機能シャワー)、A+0.11MPa(スイッチ多機能シャワー)
最高圧力	0.75MPa(静水圧)

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

測定条件は次の通りです。

- 開閉ハンドルは全開です。
- 給水温度5℃、吐出温度42℃(ガス給湯器との組み合わせが最も悪い冬季を想定)。
- 給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。
- ガス給湯器の設定温度は最高温です。

## 貯湯式給湯器と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	0.05MPa(流動圧)【スプレーシャワー】、0.07MPa(流動圧)【スイッチシャワー】
	0.1MPa(流動圧)【多機能シャワー】、0.11MPa(流動圧)【スイッチ多機能シャワー】
最高圧力	0.75MPa(静水圧)

- 給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度調節が容易になり使いやすくなります。

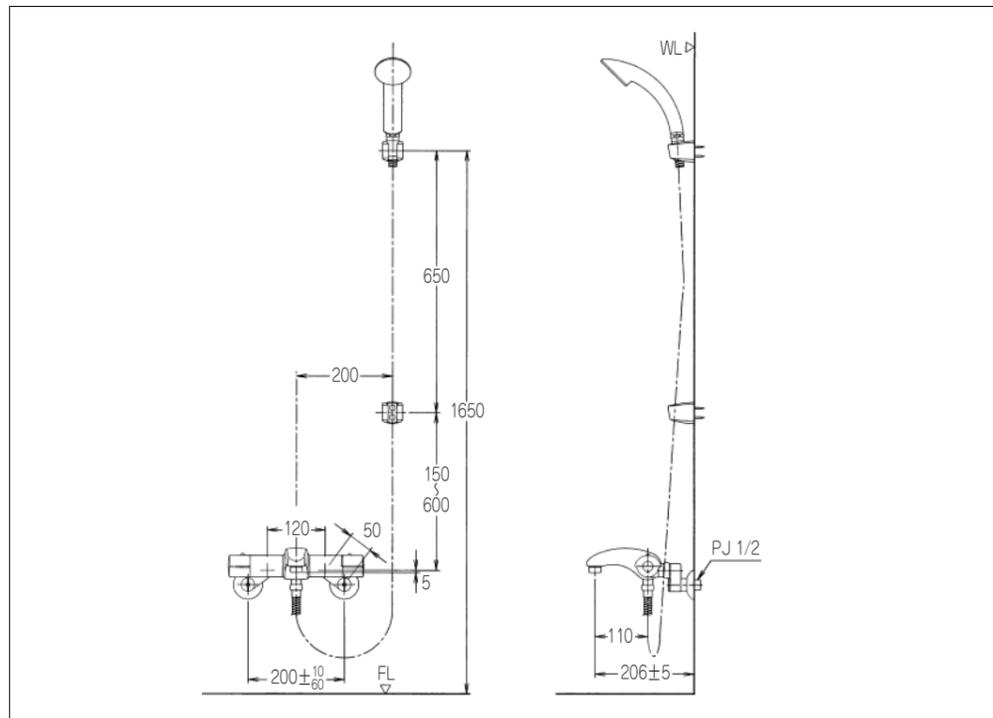
## その他の条件

- 給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20~0.34MPa程度)に減圧してください。
- 十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50℃以上60℃以下にしてください。
- 不意の出湯によるヤケド防止のため、給湯器の設定温度は60℃以下にしてください。

## 施工前のご注意

- 給水は上水道に接続してください。  
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。  
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
- 商品の表面には直接工具を掛けしないでください。  
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分に注意してください。
- 必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

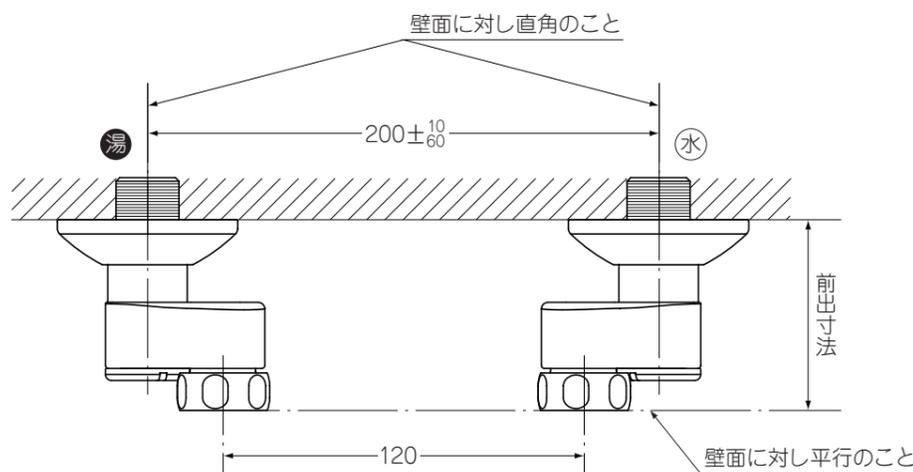
## 施工完了図



## 2. 施工方法

## ① 取付脚の取付け

湯側、水側の取付脚は壁からの前出寸法が同一になるように取り付けます。



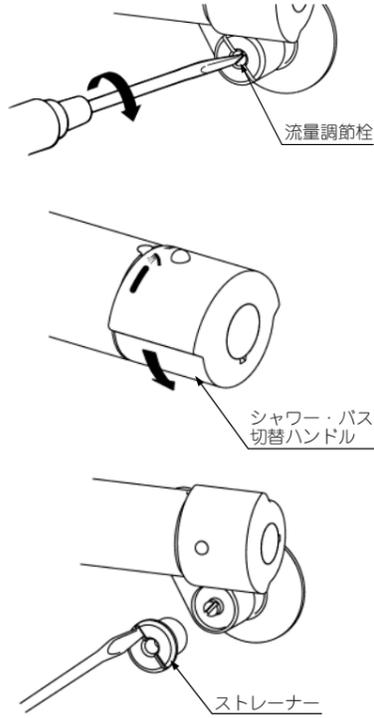
※スイッチシャワーの場合は、シャワーセット同梱の取付説明書をご覧ください。

### 3. 施工後の調節

水栓の機能を十分に発揮させるために、通水確認時に以下の項目を必ず確認してください。

#### 1 ストレーナーの掃除

- 湯側と水側の流量調節栓を時計回りいっぱいねじ込みます。
- シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回す。
- 大型のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を水で洗い流します。ストレーナーは、湯側と水側の両方に付いています。
- 組付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置に戻します。



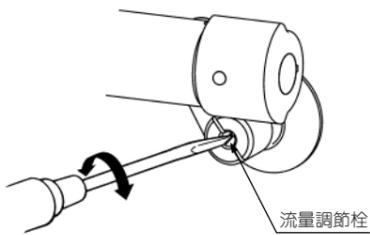
#### 2 給湯器の温度設定

給湯器の給湯温度を設定します。  
十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50℃以上60℃以下にしてください。

#### 3 流量の調節

水圧が0.20MPa {2kgf/cm<sup>2</sup>} を越える場合は水側と湯側の流量調節栓を次の要領で調節してください。

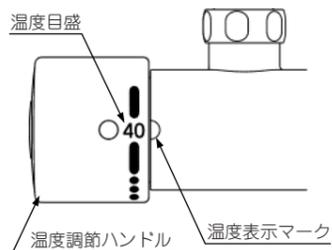
- 温調ハンドルを「C」側いっぱいへ回し吐水口側で全開にします。
- 流量が20L/分程度（洗面器一杯にするのに約10秒弱）になるように流量調節栓で調節します。
- 温度調節ハンドルの温度目盛「40」を温度表示マークに合わせ、湯側の流量調節栓を流量が20L/分程度になるように調節します。



#### 4 吐出温度の確認

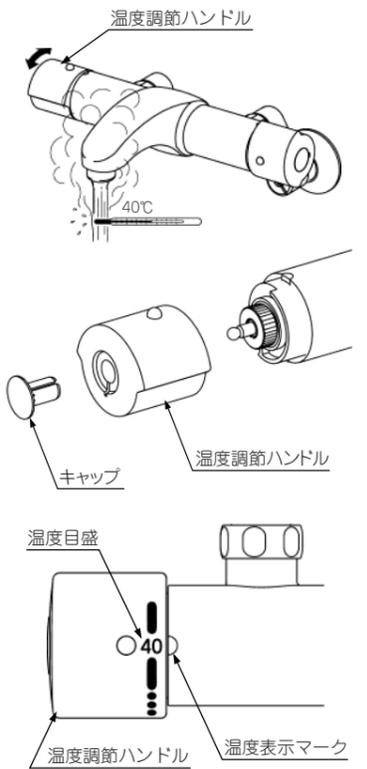
温度調節ハンドルは、工場で設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの温度が出ないことがあります。吐出温度が表示通りになっているか以下の要領で確認します。

- 温度調節ハンドルの温度目盛「40」を温度表示マークに合わせ、吐水口から全開で吐出します。
- 吐出温度を確認します。吐出温度が適温（およそ40℃）であればそのまま使用いただけます。吐出温度が適温からズレている場合は、以下の「温度調節ハンドルの設定」の項を参照し温度調節ハンドルを設定しなおします。



### 5 温度調節ハンドルの設定

- 吐水口側で全開にして、吐出温度が温度目盛には関係なく40℃になるよう、温度調節ハンドルを回します。
- 吐出温度が40℃になったところで止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意して、キャップ、温度調節ハンドルを抜き取ります。  
※キャップを外すと、温度調節ハンドルは手でひっぱるだけで外れます。
- 抜き取った温度調節ハンドルの温度目盛「40」が温度表示マークに合うように温度調節ハンドルをはめて、キャップをはめ込みます。



### 4. 引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

水栓本体に貼付けられている注意ラベル（「お客さまに快適にお使いいただくために」）は、はがさずにお客さまにお引渡してください。

#### ●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	流量調節栓は十分開いているか？	②	流量調節栓を十分開く。
	整流網にゴミ詰まりはないか？	③	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	散水板にゴミ詰まりはないか？	⑦	ゴミ等を水で洗い流す。
	ゴミかみはないか？	④	ゴミ等を水で洗い流す。
湯水の逆流がある	キズはないか？	④	キズがあれば部品を交換する。
	逆止弁は正常か？ (ゴミ、砂かみは？) (Oリング、シートにキズは？)	⑤	ゴミ等を水で洗い流す。 キズがあれば部品を交換する。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	温度調節はよいか？	⑥	「温度調節」の項参照。
	流量調節はよいか？	②	「流量調節」の項参照。

